

記録・報道/障害関係 (DA)

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2010-001	カラフル! 千恵のまいにち日つき	NHK 厚生文化事業団	15	2009/6/18
利用区分				
A-3	としおか千恵ちゃんは小学生の女の子。学校であったできごとを毎日日記に書いている。友だちのこと、先生のこと、お勉強のこと。学校で友だちとけんかをして、次の日には笑顔で仲直り。ダウン症の女の子の生活の一コマを送る。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2010-002	福祉ネットワーク 受け容(い)れる勇気をもって	NHK 厚生文化事業団	29	2009/5/25
利用区分				
A-3	奥田哲生さん(41歳)は、車いすで生活しながら自宅で塾を開いている。奥田さんは28歳でギラン・バレー症候群を発症し手足の自由を失った。突然障害者となった自分を受け入れることができず、家に引きこもりがちだったが、笑顔を取り戻すきっかけとなったのは、塾の生徒たちとの交流だった。奥田さんと生徒たちとの交流の日々を追う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2010-003	きらっといきる “すれ違い”からはじまったけど・・・	NHK 厚生文化事業団	29	2009/4/17
利用区分				
A-3	大学3年生の大畑明子さんは、生まれつき耳が聞こえない。大学でスポーツ行動学を勉強している明子さんは、「卒業後は、子どもたちにスポーツを教えたい」と考えている。スポーツクラブでの実習に臨んだ大畑さんの姿を追う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2010-004	ハートをつなごう NHK障害福祉賞(1)	NHK 厚生文化事業団	29	2009/12/7
利用区分				
A-3	44回目を迎えたNHK障害福祉賞。今回は、455編の作文が寄せられた。番組では、その中から2名の作品を取り上げ紹介する。 1日目は、小山田弘佑さん(28歳)。小山田さんは軽度の知的障害があり、そのために長年いじめを受けていた。また十代で母親が病死するというつらい体験をしたこともあって、20歳を越えたころから自殺未遂を繰り返すようになった。 そんな彼が、作文を書くことで自分と向き合い、立ち直ってきた体験を語る。			

D 記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2010-005	ハートをつなごう NHK障害福祉賞(2)	NHK 厚生文化事業団	29	2009/12/8
利用区分				
A-3	NHK障害福祉賞を紹介する2日目。三重県の岡田くめ子さんは統合失調症の娘・彩さんとの闘病についてつづった。彩さんは親のすすめで進学した大学が自分に合わず心を病んでしまった。病気をきっかけに娘の心と向き合ったくめ子さんは、「娘を最高の回復者第1号にしよう」と決意。やがて彩さんは回復し、自分が大好きだった本にかかわる仕事・図書館司書に就くまでになる。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2010-008	ろうを生きる難聴を生きる シリーズ・被爆を語る ～聞こえない人と情報について考える～①	NHK	15	2008/7/27
利用区分				
A-3	長崎の山崎榮子さんは原爆被爆者。平和祈念式典では、迫真の手話で被爆の恐ろしさ、平和の誓いを訴えた。疎開先で原爆投下の8月9日を迎えた山崎さんは、その日の夕方爆心地に入り被爆した。被爆と同時に長らく山崎さんを苦しめたのは、ろう者であるが故に情報から閉ざされ、真実を知るのが遅くなったことだ。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2010-009	ろうを生きる難聴を生きる シリーズ・被爆を語る ～聞こえない人と情報について考える～②	NHK	15	2008/8/10
利用区分				
A-3	山崎榮子さんを迎える2回目。長崎で被爆した山崎さんは、その後1年間も原爆のことを詳しく知らず、普通の爆弾だと思っていたという。聞こえる両親のもとに生まれた山崎さんに、事実を手話で話してくれる人がいなかったためだ。山崎さんは情報から疎外されていたことに今も悔しさを感じているという。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2010-021	新春ヒューマンドラマスペシャル 筆談ホステス	毎日放送	93	2010/1/10
利用区分				
B-3	銀座でナンバーワンホステスの斉藤里恵さん。彼女は耳が聞こえない。しかしその障害を乗り越えるために始めた筆談が客の心をつかみ癒している。彼女がナンバーワンホステスになるまでの道のりをドラマで再現する。			

D 記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2010-040	石橋勝のボランティア21 手話狂言で伝えるメッセージ ～西川慧子さんの挑戦～	テレビ大阪	25	2009/2/13
利用区分				
B-3	日本が誇る古典芸能のひとつ「狂言」。 主として科（しぐさ）と白（せりふ）によって表現されるこの芸能に挑戦を続けているのが西川慧子さんです。実は西川さんは聴覚に障害があります。彼女たちが演じているのは、手話で台詞を語る手話狂言なのです。「聞こえないことは個性」そう語る西川さん。 35年も前、地元で初となるボランティアサークルを立ち上げ、手話の普及に尽力。今も彼女を支える人々とともに、障害がある人たちのために幅広い活動を続けています。（テレビ大阪HPより）			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2010-041	ヒューマンドキュメンタリー “私の家族”	NHK 厚生文化事業団	43	2010/5/7
利用区分				
A-3	小学生と中学生の3人の子どもを育てるある一家。家族の間に血のつながりはない。子どもに恵まれなかった夫婦は15年前、NPOを通じて生後数か月の赤ちゃんと特別養子縁組を行い、さらに2人を迎え育ててきた。子どもたちには産みの親が別にいることを隠さず伝えてきたが、最近12歳の長女が「産みの母に会いたい」と言い始めた。親子とは？家族のきずなとは何なのか？子どもが成長の節目を迎えた家族の姿を通して見つめる。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2010-042	福祉ネットワーク うちの子どもは世界一 ぼくと音楽のたのしい関係	NHK 厚生文化事業団	29	2010/1/27
利用区分				
A-3	小柳拓人さん（16歳）は自閉症で落ち着きがなく集団行動や、家族とのコミュニケーションがうまくいかなかった。5歳で音楽教室に通わせると通常、子どもが苦手とする「同じことを反復練習する」などといったことがピタリとはまりみるみる上達。音楽を通して場面に応じた行動をすることを次第に身につけていく。拓人さんの日常を紹介しながら、同世代の若者たちや自閉症や発達障害について正しく理解し、一人一人の個性を大切に生きるということを考える。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-001	福祉ネットワーク シリーズ地域からの提言（1） 地域みんなで子どもを育てる	NHK 厚生文化事業団	29	2010/3/29
利用区分				
A-3	新潟県上越市では10年以上前から市営の保育園「ファミリーヘルプ保育園」を開設。「土日だけ預かって欲しい」、「急な仕事が入った時だけ預かって欲しい」といった、従来の行政が対応しきれなかった市民のさまざまなニーズに応えている。しかも24時間の受け入れが可能なので、緊急時など母子がいつでも駆けこめるセーフティーネットとしても機能してきた。また、住民との連携にも注力していて、子育てする母親たちが作るNPO“マミーズ・ネット”と情報交換を行い、ベビーベッドが充実した施設を作ったり、父親や企業に子育てを理解してもらうための企業研修を支援したりしている。どうしてこのようなユニークで効果的な対策が実現できるのか、財政学者の沼尾波子さんが検証する。（NHKHHPより）			

D 記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-002	ハートをつなごう 「若者のこころの病」(1)	NHK 厚生文化事業団	29	2010/6/30
利用区分				
A-3	<p>統合失調症、うつ病など、心の病の多くは若いころにその芽があると言われ、早期に支援することの有効性は、精神医療界の世界的なトレンドになっています。そこで、「若者のこころの病」を2回にわたって見つめます。前回2009年12月8日放送の『ハートをつなごう NHK障害福祉賞(2)』(DA2010-005)に出演し、放送後大反響だった岡田彩さんが再出演されます。</p> <p>第1回は彩さんの軌跡を振り返りながら、若者がこころの病を発症する背景に何があるのか？そしてどうサポートしていけばいいのか？当事者の悩みや思いをじっくりと語り合います。</p>			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-003	ハートをつなごう 「若者のこころの病」(2)	NHK 厚生文化事業団	29	2010/7/1
利用区分				
A-3	<p>統合失調症、うつ病など、心の病の多くは若いころにその芽があると言われ、早期に支援することの有効性は、精神医療界の世界的なトレンドになっています。そこで、「若者のこころの病」を2回にわたって見つめます。</p> <p>第2回では、第1回に続き、岡田彩さんと中心に、孤立しがちな若者たちが“つながる”ことの大切さとその意味について語り合います。彩さんが参加する“ありのままクラブ”には同様の障害を持つ若者たちが集います。“ありのままクラブ”に通う二人の“うつ病”男性がスタジオで本音トークを繰り広げます。</p>			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-004	ETV特集 思い出の街が甦(よみがえ)る ～写真家・井上孝治の世界～	NHK 厚生文化事業団	59	2011/3/20
利用区分				
A-3	<p>昭和30年頃の街と人々の暮らしを撮った井上孝治さん(大正8年～平成5年)。生涯、カメラ店を経営する傍ら写真を撮り続けたアマチュアカメラマンで、18年前に74歳で亡くなるまでに3万枚の写真を残しました。井上さんは、幼いときの事故が原因で耳が不自由でした。話すことはできませんでしたが、人なつっこい性格で、特に子どもたちと仲良くなり写真を撮っていたといいます。音のない世界で、時代と風景を見つめ続けていました。その写真には、めまぐるしく移り変わる時の中で、わたしたちが置き忘れてきたものが写し出されています。写真作品と、残された日記、そして家族・関係者の証言などから、井上孝治さんの生涯をたどります。</p>			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-041	カンブリア宮殿 障害者に働く喜びを 日本理化学工業会長 大山泰弘	テレビ東京	44	2008/11/3
利用区分				
B-3	<p>不況にあえぐ中小企業にあって、社員の幸せを考え続けている会社がある。神奈川県川崎市にある「日本理化学工業」だ。この会社の従業員は74人のうち54人が知的障害者だ。しかも重度の人が半数以上を占めている。障害者の雇用を積極的に進める企業の中でも、草分け的な会社だ。</p> <p>日本理化学工業の50年の歩みと障害者雇用の現実と問題点をあぶりだしていく。 【群馬県聴覚障害者コミュニケーションプラザ】</p>			

D 記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2011-042	目撃者 f 絵里せんせいとスーパーダンスキッズ	福岡放送 字幕制作：福岡県聴覚障害者センター	26	2010/4/25
利用区分				
B-3	最近、子どもたちの間でもヒップホップやストリート系ダンスが大人気で、キッズダンスの全国大会開催など、キッズダンス界はこれまでにない盛り上がりを見せている。 福岡市南区にも全国で注目を集めるダンスチームがある。小学生ダンサー日本一を決める大会で前年全国3位。今回は優勝を目指すチーム「絵里ダンス」だ。子どもたちを指導するのは、西畑絵里さん。西畑さんは生まれながらにして重度の難聴という障害をもちながら、高校、大学時代に何度も日本一に輝いた実績がある。その努力は並大抵のものではない。「ダンスの前にはまず礼儀」という西畑さんの指導はとても厳しい。「できるかできないかでなく、やるかやらないかよ!」と口を揃えて西畑さんに子どもたちは泣きながら必死の思いで付いていく。さて、今大会の結果は…。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-001	ハートをつなごう きょうだい～障害のある人の兄弟姉妹～(1) 抱えてきた“生きづらさ”	NHK 厚生文化事業団	29	2011/9/28
利用区分				
A-3	「子ども時代に親に甘えられなかった」「大人になっても、自分のために人生を生きられない」…障害のある人や、難病などで長期闘病している人の兄弟姉妹は、「きょうだい」あるいは「きょうだい児」と呼ばれ、成長の過程で悩みや葛藤を抱く人が多いといわれています。しかし、家族支援の必要性が指摘されるようになって、「きょうだい」は、なかなか支援の対象として捉えられてきませんでした。「自分が悩んでいることで、親を悲しませたくない」、「周囲の人に話せば、自分が悪い人間だと思われるのではないか」…一人で苦しんでいる若者が、数多くいるのではないかとされています。(1)では、「きょうだい」がどんなことに苦しんできたのかを当事者のみなさんとともに考えていきます。(NHKHP参照)			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-002	ハートをつなごう きょうだい～障害のある人の兄弟姉妹～(2) “自分を生きる”ために	NHK 厚生文化事業団	29	2011/9/29
利用区分				
A-3	「子ども時代に親に甘えられなかった」「大人になっても、自分のために人生を生きられない」…障害のある人や、難病などで長期闘病している人の兄弟姉妹は、「きょうだい」あるいは「きょうだい児」と呼ばれ、成長の過程で悩みや葛藤を抱く人が多いといわれています。しかし、家族支援の必要性が指摘されるようになって、「きょうだい」は、なかなか支援の対象として捉えられてきませんでした。「自分が悩んでいることで、親を悲しませたくない」、「周囲の人に話せば、自分が悪い人間だと思われるのではないか」…一人で苦しんでいる若者が、数多くいるのではないかとされています。 (2)では、「きょうだい」が、成長の過程で抱えるさまざまな課題を、どうやって乗り越えていけばいいのかを当事者のみなさんとともに考えていきます。(NHKHP参照)			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-003	ハートをつなごう NHK障害福祉賞(1) 私の家族	NHK 厚生文化事業団	29	2011/12/28
利用区分				
A-3	「NHK障害福祉賞」は、障害者自身の体験や障害児・者の教育や福祉の分野での実践記録などに贈られる賞。 この「NHK障害福祉賞」最優秀賞を受賞した徳澤麻希さん。夫の勝也さんが交通事故で車いすの生活になり、麻希さんは、勝也さんの介助とふたりの子どもの子育てに奮闘。夫の勝也さんは障害を抱えながら、子育てにどう関わったらいいのか悩んできた。困難に遭いながらも前向きに生きようとする一家の姿をご紹介します。作品にこめられた思いを伺う。			

D 記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-005	福祉ネットワーク 東日本大震災 障害者の1か月 集団避難した人たち	NHK	29	2011/4/12
利用区分				
B-3	福島県いわき市で、さまざまな支援を受けて自立した生活を送っていた障害者74人が、東日本大震災の影響で長野県へと集団避難をした。今後どのように生活を再建していくのか、ふるさとへの強い思いの中で揺れる障害者の姿を見つめる。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-006	福祉ネットワーク 孤立を防げ ～石巻 聴覚障害者はいま～	NHK	29	2011/6/9
利用区分				
B-3	東日本大震災で被災したろう者の中には、情報が入らず、また支援が受けられずに孤立する方々がいる。彼らの支えとなるのが、設置手話通訳だ。宮城県石巻市で活動する設置手話通訳の姿を通して、被災した聴覚障害者の支援について考える。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-007	福祉ネットワーク 東日本大震災 “盲ろう者”になにかおきたか	NHK	29	2011/9/1
利用区分				
B-3	多くの人に甚大な被害をもたらした東日本大震災。中でも視覚と聴覚の両方に障害を持つ「盲ろう者」は、震災直後の停電や情報網の混乱の中、情報を得る一切の手段を失った。さらに震災は、日ごろ盲ろう者を支えていた支援者の命も奪った。東日本大震災で盲ろう者はどんな事態に直面したのか、そしてどんな支援が必要なのか考える。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-008	ろうを生きる難聴を生きる 人工内耳・270人の親の声 ～全国早期支援協議会アンケートから～	NHK	15	2010/10/3
利用区分				
B-3	内耳に電極を入れることで、聴力の回復をはかる人工内耳。1994年に保険が適用となってからは手術を受ける人が増え、また手術時の平均年齢は2009年には3歳代となった。多くのケースでは、手術を行うか否かの判断は親が判断している現状だ。番組では、聴覚障害児を持つ親を対象に行われたアンケートから、人工内耳に対する親の気持ちを紹介。また人工内耳を装着しながらも、手話の世界に生きがいを見いだした聴覚障害者の姿も紹介する。			

D 記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-009	ろうを生きる難聴を生きる 検証・韓国手話 ～似ている？似ていない？その実像に迫る～	NHK	15	2011/10/22
利用区分				
B-3	日本でも学ぶ人が増えている韓国手話。北星学園大学の佐々木大介さんは、言語学の立場から両者を比較研究している。かつて日本が韓国を植民地化していた歴史的背景もあり、韓国手話と日本手話は非常に似ていると言われるが、最近ではその状態に変化が起きているという。韓国手を取り巻く現状を見ていく。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-010	ろうを生きる難聴を生きる 自分自身への挑戦～ライダー高杉奈緒子 日本最高峰レースに挑む～	NHK	15	2011/10/31
利用区分				
B-3	高杉奈緒子さんは難聴者。23歳の時からライダーとして走り続けている。日本最高峰のオートバイレース「全日本ロードレース選手権」にも参戦中だ。「自分自身の限界に挑戦したい」という高杉さんのレースにかける思いを追った。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-011	ろうを生きる難聴を生きる ろう教授奮闘記 ～松崎丈さん～	NHK	15	2010/11/14
利用区分				
B-3	宮城教育大学准教授の松崎丈さんはろう者。ろう学校の教員を目指す学生たちを指導している。小学校から高校まで普通校で過ごした松崎さんは大学で手話と出会い、現在は手話を使って講義を行う。手話通訳はつけず、学生たちは手話を学びながら松崎さんとコミュニケーションしている。ろう教育を担う学生に期待する思いを、松崎さんに語っていただく。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-012	ろうを生きる難聴を生きる 聞こえない大学生への支援 ～生き生きと学ぶために～	NHK	15	2010/11/28
利用区分				
B-3	現在、大学に進学している聴覚障害学生は1500人ほどおり、その数が増える中、大学での情報保障の整備が急がれている。番組では「日本聴覚障害学生高等教育シンポジウム」の様子を紹介しながら、一部の大学で行われている先駆的な試みを見ていく。お話は筑波技術大学障害者高等教育研究支援センターの白澤麻弓さん。			

D 記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-015	ろうを生きる難聴を生きる ろう者の思いを伝えたい ～映像ドキュメンタリー作家・今村彩子さん～	NHK	15	2011/1/9
利用区分				
B-3	今村彩子さんはろうの映像ドキュメンタリー作家。「ユニバーシティライフ～ろう・難聴学生の素顔～」が文部科学省選定作品となるなどいくつかの受賞体験もした。また「伝えたい」が日本民放連盟賞CM部門で優秀賞を受賞した。この作品は静岡県内のサーフ店長（ろう者）が、店を訪れる健聴者と筆談でコミュニケーションする姿を通して「伝える方法はいろいろある。大切なのは伝えたいという気持ち」というメッセージを送るものである。今村さんの思いを伺う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-016	ろうを生きる難聴を生きる つかめ！聞こえない人々のニーズ ～しゅわ旅ツアー～	NHK	15	2011/1/18
利用区分				
B-3	片桐幸一さんは旅行代理店で働くろう者。ほかのスタッフとともに聴覚障害者の他、さまざまな障害のある人を対象にした旅行を企画している。当事者たちはどのようなサービスを求めているのか片桐さんの体験を通して考える。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-019	ろうを生きる難聴を生きる 島のろう者は今	NHK	15	2011/3/6
利用区分				
B-3	島根県・隠岐は4つの島からなり、約2万人の人々が暮らす。ここには手話で生活する人が10人ほどいる。離島では手話通訳の派遣が難しい場合も多い。島のろう者たちの暮らしを追った。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-020	ろうを生きる難聴を生きる 災害関連情報(平成23年3月20日放送)	NHK	15	2011/3/20
利用区分				
B-3	東日本大震災から9日目の放送。岩手・宮城・福島各被災地の様子、聴覚障害者の状況を、各地のろうあ協会・難聴者協会や手話通訳者から報告してもらう。また被災地の聴覚障害者から番組に寄せられたメールを紹介し、被災者の生の声を伝える。			

D 記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-021	ろうを生きる難聴を生きる この一年を振り返って ～ハイライトシーンをもう一度！～	NHK	15	2011/3/27
利用区分				
B-3	1年間の放送を振り返り、さまざまな世界で活躍する4人の聴覚障害者の様子を、ハイライトシーンを交えて紹介する。登場するのは、女性ライダーの高杉奈緒子さん、大学准教授の松崎丈さん、会津塗りの職人の星清一さん、旅行会社で手話ツアーを企画する片桐幸一さんだ。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-022	ろうを生きる難聴を生きる 災害関連情報(平成23年4月3日放送)	NHK	15	2011/4/3
利用区分				
B-3	東日本大震災関連情報。震災から3週間目の様子を伝える。聴覚障害者救援中央本部の取り組みについてと、岩手県ろうあ協会会長高橋幸子さんの報告。番組後半では、兵庫県立聴覚障害者情報センターの相談員・甲斐更紗さんを迎え、災害時の心理支援について伺う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-023	ろうを生きる難聴を生きる 災害関連情報(平成23年4月10日放送)	NHK	15	2011/4/10
利用区分				
B-3	東日本大震災から1か月目の様子を伝える。全難聴対策本部の高岡正さんから、難聴者の被災状況・必要な支援について伺う。後半は精神保健福祉士の高山享太さんを迎え、被災した子どもたちをどう受け止め支援していくのかを伺う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-024	ろうを生きる難聴を生きる あきらめない人生 前編 ～藤田孝子さん～	NHK	15	2011/4/17
利用区分				
B-3	1964年に制作されたNHKのドキュメンタリー「歳月」は、藤田威さん・孝子さんの聞こえない夫婦が、たくましく生きる姿を描いた作品だ。ろう者への差別がまだ酷しかった時代。さまざまな苦労に負けず前向きに生きた孝子さんの「あきらめない人生」を伺う。			

D 記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-025	ろうを生きる難聴を生きる あきらめない人生 後編 ～藤田孝子さん～	NHK	15	2011/4/24
利用区分				
B-3	藤田孝子さんにお話を伺う後編。夫の威さんは島根県のろうあ連盟の中心的存在として活躍した。夫の生前からろうあ運動にかかわった孝子さんだが、当時は女性が前面に出るのは珍しいことだった。夫の死後、島根県のろうあ連盟の会長も務めた孝子さんに、女性ならではの取り組みについて伺う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-026	ろうを生きる難聴を生きる 人形劇と自分探しの旅 ～前編～	NHK	15	2011/5/1
利用区分				
B-3	「デフ・パペットシアター・ひとみ」は、聞こえない人と聞こえる人が力を合わせて上演する人形劇団。結成30周年記念作品の公演に初挑戦する牧野英玄さんの姿を追う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-027	ろうを生きる難聴を生きる 人形劇と自分探しの旅 ～後編～	NHK	15	2011/5/8
利用区分				
B-3	「デフ・パペットシアター・ひとみ」の牧野さんはろう学校ではなく一般校で学び、聞こえる世界と聞こえない世界のはざままで揺れ動いていた。人形劇を通して、自分探しの旅を続ける牧野さん。初めての公演を通して、「自分とは何者なのか」が少しつかめたという。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-028	ろうを生きる難聴を生きる どんぐり ろう重複障害とともに ～知的障害のある仲間のために～	NHK	15	2011/5/15
利用区分				
B-3	入所授産施設「ふれあいの里・どんぐり」には60人のメンバーが暮らす。その半数以上が、知的障害のある人たち。メンバーは共同生活をする中で、使える手話単語の数を増やしたり、買い物をする力を付けたりして、少しずつ成長している。全国的にも先進的と言われる取り組みを伝える。			

D 記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-029	ろうを生きる難聴を生きる どんぐり ろう重複障害とともに ～さまざまな”生きづらさ”を支えて～	NHK	15	2011/5/22
利用区分				
B-3	設立当初の「どんぐりの家」のころとは異なり、今、「ふれあいの里・どんぐり」では、精神障害、ひきこもり、盲ろうなど、さまざまな「生きづらさ」のある人の暮らしを支えている。「ふれあいの里・どんぐり」の取り組みを伝える。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-030	ろうを生きる難聴を生きる 制度改革① 必要とする人にサービスを	NHK	15	2011/6/12
利用区分				
B-3	日本では、軽中度難聴の人は障害認定されず、福祉サービスなどを受けることができない。しかし、日常生活で困っていることは、たくさんある。サービスを必要とする人が、サービスを受けられるようにするための道筋を考える。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-031	ろうを生きる難聴を生きる 制度改革② どこでもいつでもコミュニケーション支援を	NHK	15	2011/6/19
利用区分				
B-3	現在、手話通訳派遣事業、要約筆記派遣事業、手話通訳設置事業を実施していない市町村があり、内容も地域格差があることが指摘されている。最新の調査結果をもとに、どこでもいつでもコミュニケーション支援が受けられるようにするための道筋を考える。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-032	ろうを生きる難聴を生きる 大好きな犬と仲間と ～びわこみみの里の就労支援～	NHK	15	2011/6/26
利用区分				
B-3	滋賀県守山市にある「びわこみみの里」は、一般企業への就労が難しい聴覚障害者などが、就労訓練を受けたり働いたりする施設。中でもユニークなのは犬の美容師であるトリマーの養成。トリマーを目指す人たちを中心に、みみの里を紹介する。			

D 記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-036	ろうを生きる難聴を生きる 東日本大震災 盲ろう者は	NHK	15	2011/7/24
利用区分				
B-3	岩手県大槌町に住む八幡美知子さん（60歳）は、息子夫婦と孫と6人で暮らしている。震災で家は無事だったが、14年前から八幡さんを支えてくれた通訳・介助者が、津波で行方不明になってしまった。大槌町には、ほかに通訳・介助者はいない。震災の中での盲ろう者の生活の現状を伝える。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-037	ろうを生きる難聴を生きる 東日本大震災 放射能の不安	NHK	15	2011/7/31
利用区分				
B-3	ろう者は、放射能や放射能の影響を減らすための注意点について、手話を通して情報を得る機会が少ない。そこで、東日本大震災聴覚障害者救援福島県本部では、手話通訳を付けた専門家の講演会を開いた。放射能汚染と向き合うろう者と、それを支援する動きを伝える。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-038	ろうを生きる難聴を生きる 災害時の緊急情報をどう伝えるか	NHK	15	2011/9/18
利用区分				
B-3	東日本大震災では、聴覚障害者の防災や被災者支援において、さまざまな課題が浮き彫りになった。特に情報配信は重要な課題である。災害発生時に確実に情報が届くようにするには、どんなシステムを用意しておくことが必要なのか考える。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-039	ろうを生きる難聴を生きる 災害と聴覚障害者情報提供施設	NHK	15	2011/9/25
利用区分				
B-3	東日本大震災で、情報提供施設は地元の聴覚障害者団体と協力し、安否確認や被災者支援活動を行った。災害時に重要な役割を担う情報提供施設のない地域では、一日も早い施設設置を望む声が高くなっている。災害時の情報提供施設の役割について伝える。			

D 記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-041	なんくるないさぁ 耳の日特番 ～今井絵里子が息子と歩んだ6年～	日本テレビ	45	2011/3/5
利用区分				
B-3	かつてSPEEDのメンバーとして、国民的人気を得た歌手・今井絵理子さん。彼女の一人息子、礼夢くんは耳が聞こえない。「聞こえないことは息子の個性」と言い切る絵理子さんは、礼夢くんを連れて全国のろう学校や施設を回り、コンサートを行っている。自ら手話を学び、息子とコミュニケーションし、そして歌い続ける絵理子さんの姿を追った。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-043	NNNドキュメント' 11 3・11大震災シリーズ16 手話で伝えた被災地 ～心の壁を越えて～	静岡第一テレビ	25	2011/10/3
利用区分				
B-3	今村彩子さんはろう者の映像作家。東日本大震災の直後から現地入りし、被災したろう者たちの姿を撮り続けてきた。以前は手話のできない聴者とのコミュニケーションにあまり積極的ではなかったという今村さん。しかしあるろう者との出会いで、自分の心の壁に気づく。被災したろう者の復興も、それぞれが心の壁を超えたとき、何かが見えてくるはず。それを信じて、ひたむきに作品づくりに向き合う今村さんの姿を追う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-044	JNN九州沖縄ドキュメント ムーブ 手話で生きたい	熊本放送	25	2011/10/27
利用区分				
B-3	乗富秀人さんは熊本に住む画家。描くのは、デフアートと呼ばれる「音のない世界の人たちの想いを表現する」絵画だ。口話教育で厳しく育てられた乗富さんは就職してからも、聴者ばかりの社会で孤独感を強めていた。転機となったのは26歳の時に絵の勉強のために向かったパリ。ろう教育発祥の地フランスで、ろうであることに誇りを持って生きる芸術家たちと出会う。今、乗富さんはろう者の誇りを持って、「手話で生きたい」と強く思っている。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-045	架け橋 第1弾 ～東日本大震災 宮城の被災ろう者は今～ 第2弾 ～東日本大震災 一カ月後の被災ろう者～ 第3弾 ～東日本大震災 地域の絆～	CS障害者放送 統一機構	75	2012年度
利用区分				
A-3	甚大な被害をもたらした東日本大震災。その時、聞こえない仲間たちは、建物の倒壊した町で、避難所で、何を思いどう過ごしていたのか。ろう者である今村彩子監督が見た被災地とは、そして聞こえない仲間たちとは…。渾身のドキュメンタリー作品。			

D 記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2012-046	福祉ネットワーク この人と福祉を語ろう デザインで描く生きる希望 ～建築家 伊東豊雄さん～	NHK	29	2012/1/9
利用区分				
A-3	各界の著名人に、その人なりの福祉論を語ってもらう「この人と福祉を語ろう」。今回のゲストは、世界的な建築家の伊東豊雄さん（70歳）。東日本大震災によって暮らしや地域社会が奪われた被災者たち。伊東さんは震災直後から被災地に入り、「建築の力」でコミュニティの復興再生を支援するために力を注いできた。多くの喪失を経験した被災者の心と生活の復興再生を、どうデザインの力で支援しようとしているのか、話を伺う。（NHKH Pより）			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-001	アスリートの魂 私はもっと速くなる 車いすマラソン 土田和歌子	NHK	44	2012/9/3
利用区分				
A-3	パラリンピック車いすマラソン日本代表、土田和歌子選手。17歳で足の自由を失った後、幾多の苦難においても常に前を向いて走り続け、夏と冬のパラリンピック両方で金メダルを獲得。まだ手にしていないのが、車いすマラソンでの金メダルだ。レース中の事故で大けがを負った北京大会から4年、37歳の肉体は衰えを隠せないが、「最後のチャンス」と臨むロンドンに向けた激闘の日々に密着した。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-002	ハートネットTV NHKハート展 叱られたとき	NHK	29	2012/12/17
利用区分				
A-3	障害がある人が作った詩に著名人が絵をつけるアートのコラボレーション「NHKハート展」。今回は入選者の中から、茨城県に住む遠藤真宏さん（19歳）の作品をとりあげる。真宏さんは知的障害と自閉症がある。小さい時は、自分の感情をコントロールできず、ほとんど人と関わることもできなかった。母親の礼子さんは、幼少から2つのことを心がけて、真宏さんに向き合ってきたという。（NHKH P参照）2つのこととは…？			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-003	東日本大震災6ヵ月 取り残される障害者	NHK	29	2011/9/11
利用区分				
B-3	東日本大震災から6ヵ月がたち、NHKでは独自の取材によってある数字を得た。そのデータによると、障害のある人の死亡率は障害のない人に比べて、2倍近くも高かった。その結果から見てきた被災地の障害者の現実、課題を伝える。障害者が取り残されることのない社会に向かって、何が必要で、今何をしなければいけないのか考える。			

D 記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-004	ろうを生きる難聴を生きる 明日へのシュート ～デフバスケットチーム 宮城クローバース～ 前編	NHK	15	2011/10/2
利用区分				
B-3	愛知県で開かれた全国ろうあ者体育大会に東日本大震災の被災地から参加した、デフバスケットボールチーム「宮城クローバース」。メンバーの中には肉親を失った人もいる。被災者の支援に走り回った人もいる。 震災の影響で十分な練習ができなかったメンバーの思いを追う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-005	ろうを生きる難聴を生きる 明日へのシュート ～デフバスケットチーム 宮城クローバース～ 後編	NHK	15	2011/10/9
利用区分				
B-3	東日本大震災の被災地の宮城から、全国ろうあ者体育大会参加を決めた「宮城クローバース」。しかしメンバーは5人だけ。控え選手もいない人数で大会に参加したクローバースの戦いぶりを追う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-006	ろうを生きる難聴を生きる 難聴児教育① 学びやすい学校作り ～ある夫婦のとりくみから～	NHK	15	2011/10/16
利用区分				
B-3	秋田県に住む荒巻晋治さん里美さん夫妻は、長男の修治君（10歳）が秋田市立御所野小学校難聴児学級に入学して以来4年間、難聴児にとって学びやすい学校を目指して活動を重ねてきた。親子の軌跡と現在の学校のとりくみを2回シリーズで送る。 1回目は情報保障に焦点を当てる。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-007	ろうを生きる難聴を生きる 難聴児教育② 子どもはこう感じている ～難聴児の“手記から”～	NHK	15	2011/10/23
利用区分				
B-3	難聴児教育2では、学校生活について書いた修治君の作文を取り上げる。 日々学校で起きたことを、修治君はどう受けとめ、成長していったのか。子ども自身の感じ方から難聴児教育や学校のありかたを考える。			

D 記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-008	ろうを生きる難聴を生きる 防災を考える ～全国難聴者・中途失聴者福祉大会inあおもり～	NHK	15	2011/10/30
利用区分				
B-3	青森市で開催された「第17回全国難聴者・中途失聴者福祉大会」では、さまざまな分科会の中でも、防災について考える分科会への出席者が多かった。 防災を中心に「福祉大会inあおもり」を伝える。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-009	ろうを生きる難聴を生きる ～ 司法手続きにおける配慮を ～	NHK	15	2011/11/6
利用区分				
B-3	2011年に改正障害者基本法が成立し施行された。その中に新しく盛り込まれた条文の1つが司法手続きにおける配慮である。 ろう者がかわる裁判や事件の取り調べ等のコミュニケーション保障について考える。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-010	ろうを生きる難聴を生きる シリーズ こころの病 ① ストレスと発症障害者基本法が求めるもの～	NHK	15	2011/11/13
利用区分				
B-3	聴覚障害者が精神疾患になった場合、聴覚障害の理解が必要だと言われる。2回シリーズで、統合失調症のろう者の発症から回復までを例に、聴覚障害者の精神保健について伝える。 1回目は、聴覚障害者にとってのストレス、治療におけるコミュニケーションの大切さに焦点をあてる。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-011	ろうを生きる難聴を生きる シリーズ こころの病 ② 仲間・生きがいと回復	NHK	15	2011/11/13
利用区分				
B-3	都内に住む統合失調症のろう者(48歳)は、作業所に通い、弁当の調理の仕事を任されるようになってから、やりがいを感じるようになった。また、精神疾患のある聴覚障害者の仲間と会う場が支えになっている。 こころの病シリーズの2回目は、生きがいになる目標を作ることや、仲間作りの大切さに焦点をあてる。			

D 記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-012	ろうを生きる難聴を生きる 闘う人生 大矢暹さん ① 差別をなくすために	NHK	15	2011/11/27
利用区分				
B-3	大矢暹さんは「淡路ふくろうの郷」で施設長を務めている。ふくろうの郷には聞こえないお年寄りが多く暮らしている。 いつも穏やかな笑顔でお年寄りと接する大矢さんの人生は、まさに闘いの連続だった。大矢さんの闘う人生を2回シリーズで送る。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-013	ろうを生きる難聴を生きる 闘う人生 大矢暹さん ② 聞こえない高齢者のために	NHK	15	2011/12/4
利用区分				
B-3	ろう学校時代、教師たちの差別や偏見と闘った大矢暹さんは、卒業後は社会の中のさまざまな壁に立ち向かった。 大矢暹さんの闘う人生シリーズ2回目は、聞こえない高齢者が暮らしやすい社会にしようと活動した思いを伺う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-014	ろうを生きる難聴を生きる 日々是修行 表具師 中河吉由樹さん	NHK	15	2011/12/11
利用区分				
B-3	表具師の中河吉由樹（なかがわよしゆき）さんは中途失聴のために、目指していた表具師の道を一時はあきらめた。だが復職を可能にしたのは人工内耳だった。表具師という仕事を「人生でこれほど打ち込めたものはない」と言い切る中河さん。表具の技を磨き続ける中河さんの日々を追う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-015	ろうを生きる難聴を生きる イグ・ノーベル賞と聴覚障害者 ～わさび臭火災警報装置～	NHK	15	2011/12/18
利用区分				
B-3	イグノーベル賞とは、人を笑わせ考えさせる独創的な研究に贈られる賞だ。化学賞を受賞した日本人のグループが開発したのは、「わさびのにおいで火災を知らせる警報装置」。装置の開発には、多くの聴覚障害者が協力した。			

D 記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-016	ろうを生きる難聴を生きる 手話の権利を確立させよう 「手話言語法」制定運動	NHK	15	2012/1/8
利用区分				
B-3	2011年7月「改正障害者基本法」が成立し、日本で初めて「手話は言語である」ということが認められた。手話の権利をさらに確かなものにしようと、全日本ろうあ連盟が進めているのが、「手話言語法（仮称）制定推進事業」。手話言語法はどんな権利の確立を目指しているのか。ろうあ連盟の西滝憲彦さんに伺う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-017	ろうを生きる難聴を生きる 聞こえる子を育てる親へ ～「コーダ」からのメッセージ～	NHK	15	2012/1/15
利用区分				
B-3	聞こえない親から生まれた子どもをコーダと呼ぶ。聞こえない親は、コーダの子育てに迷いを持つことがあるという。そんな親たちを支援するため、聴力障害者情報文化センターがDVDをつくった。乳幼児期や学齢期の子育てについてわかりやすく解説している。DVDに解説者として登場する金沢大学の武居渡さんと声優の佐田明さんの2人のコーダが、コーダの子育てについて語り合う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-018	ろうを生きる難聴を生きる シリーズ 若者が見たアメリカ① 前向きな生き方 ～西川愛理さん～	NHK	15	2012/2/5
利用区分				
B-3	手話で学べる大学「ギャローデット大学」。アメリカでは、大学で専門的なことを学ぶ若い難聴者やろう者が増えている。難聴者の西川愛理さんも、自分の難聴について学びたいと、アメリカの大学でオーディオロジーを学んだ。 海外の仲間と触れあう中で、難聴者として生きることには自信を持ったという西川さん。彼女を変えたきっかけについて伺う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-019	ろうを生きる難聴を生きる シリーズ 若者が見たアメリカ② 聞こえない人への相談支援～高山亨太さん～	NHK	15	2012/2/12
利用区分				
B-3	精神保健福祉士であり、社会福祉士でもある高山亨太さんは、3年間ギャローデット大学で、聞こえない人のソーシャルワークについて学んだ。現在は、聴覚障害のある子どもたちの相談にあたっている。高山さんがアメリカでみた聴覚障害者への専門的な支援について伺う。			

D 記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-020	ろうを生きる難聴を生きる 手話通訳制度を考える	NHK	15	2012/2/19
利用区分				
B-3	聴覚障害者の暮らしに欠かせない手話通訳。去年、高松市で手話通訳の派遣を市が認めない例が起きた。ろう者の母親が、娘が進学を希望する専門学校の説明会への通訳派遣を依頼したが、市に断られたのだ。母親は裁判を起こすことにした。手話通訳制度の何が問題なのか、どう変えるべきなのかを考える。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-021	ろうを生きる難聴を生きる 世界ろう者卓球選手権まで2か月(1) つかめ金メダル! -上田萌さん-	NHK	15	2012/2/26
利用区分				
B-3	東京富士大学・卓球部の上田萌さんは、第2回世界ろう者卓球選手権大会に出場する。第1回大会は銅メダル、デフリンピックでは決勝まで進んだが、惜しくも金メダルを逃した。今度こそ世界の頂点を目指す上田選手の挑戦を追う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-022	ろうを生きる難聴を生きる 世界ろう者卓球選手権まで2か月(2) 夫婦で挑む -有馬歓生・千寿子さん-	NHK	15	2012/3/4
利用区分				
B-3	東京で開かれる第2回世界ろう者卓球選手権大会。その強化合宿に夫婦で参加した有馬歓生・千寿子夫妻。第1回大会では千寿子さんが4位、歓生さんは32位だった。認め合い支え合って世界に挑む夫婦の日常を追った。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-023	ろうを生きる難聴を生きる 防災・減災のために	NHK	15	2012/3/11
利用区分				
B-3	聴覚障害のある人の命を災害から守るためには、警報や避難指示を確実に伝えることが必要だ。自治体が緊急情報を出す時は、音声だけでなく文字などの視覚情報でも出さなくてはならない。同時に、1人1人の日ごろの備えも大切だ。情報をどのように得るのか、何を持ち歩くか。聴覚障害者の防災・減災に役立つモノやサービスを紹介する。			

D 記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-024	ろうを生きる難聴を生きる 検証 障害者自立支援法改正案	NHK	15	2012/4/8
利用区分				
B-3	<p>「障害者自立支援法改正案」は、名前を「障害者総合支援法」とあらため、これまで福祉サービスを受けられなかった難病の患者もサービスの対象に広げるなどとしている。</p> <p>しかし、この法案に対しては、障害者自立支援法に代わる福祉制度について話し合ってきた「障がい者制度改革推進会議」の総合福祉部会の骨格提言とかけはなれている、などとする批判がある。</p> <p>聴覚障害者団体からの出演者とともに、改正案を検討する。</p>			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-025	ろうを生きる難聴を生きる いつか宇宙へ ～JAXA開発員 長谷川晃子さん～	NHK	15	2012/4/15
利用区分				
B-3	<p>2010年、地球に帰還した、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の探査機「はやぶさ」。その「はやぶさ」の帰還作業にかかわった長谷川晃子さんは、聴覚障害のある女性職員だ。</p> <p>子どものころから天文台に行くことが好きだった。いつか宇宙へ行くことを夢見て、「宇宙からの第一声は手話で伝えたい」と語る長谷川さんに、JAXAでの仕事の内容と、宇宙への思いを聞く。</p>			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-026	ろうを生きる難聴を生きる 早瀬憲太郎に聞く① ろう児のために	NHK	15	2012/4/22
利用区分				
B-3	<p>「NHKみんなの手話」講師の早瀬憲太郎さんは、ろうの子どもたちに日本語の力を身につけてもらおうと、ろう児向けの塾の活動をしている。ろう児が自分の夢を実現するときに、日本語の読み書きの力が必要になると思うからだ。ろう児のためにできることは何かと考え続ける早瀬さんにお話を伺う。2回連続シリーズの1回目。</p>			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-027	ろうを生きる難聴を生きる 早瀬憲太郎に聞く② 先輩の生きざまを伝えたい	NHK	15	2012/4/29
利用区分				
B-3	<p>2009年、早瀬さんが監督した映画「ゆずり葉」が公開された。全日本ろうあ連盟の創立60周年を記念して制作されたこの映画は、「ろう児たちにろうあ運動の歴史をわかりやすく伝えたい」という早瀬さんの発案からスタートした。</p> <p>早瀬さんに、聞こえるスタッフに囲まれて奮闘した撮影時のエピソードや、それぞれのシーンに込められた思いなどを伺う。2回連続シリーズの2回目。</p>			

D 記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-031	ろうを生きる難聴を生きる 2012世界ろう者卓球選手権大会 前編	NHK	15	2012/5/27
利用区分				
B-3	4月29日から5月6日まで東京で開かれた「2012世界ろう者卓球選手権大会」。16の国と地域から、選手・役員126人が参加した。世界の強豪と戦った日本選手を追う。 日本代表として参加した選手の一人梅村正樹選手や、夫婦で混合ダブルスに出場した有馬敏生・千寿子選手の戦いぶりなど、大会前半を紹介する。2回連続シリーズの1回目。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-032	ろうを生きる難聴を生きる 2012世界ろう者卓球選手権大会 後編	NHK	15	2012/6/3
利用区分				
B-3	「2012世界ろう者卓球選手権大会」。この大会では女子が大活躍した。女子団体優勝に引き続き、女子ダブルスで上田萌・佐藤理穂組が優勝、女子シングルスでは、上田が金、佐藤が銀という成績を残した。 強豪・中国との接戦の末メダルを勝ち取った二人の戦いぶりを中心に、大会後半を紹介する。2回連続シリーズの2回目。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-033	ろうを生きる難聴を生きる めざせ！日本語・手話CG自動翻訳	NHK	15	2012/6/10
利用区分				
B-3	NHK放送技術研究所の研究成果を公開する「技研公開」。昨年に引き続き注目を集めたのが、日本語を手話CGに自動翻訳する研究だ。 日本語の文章を打ち込むと、ほとんどリアルタイムで手話CGを生成する。研究のポイントは、過去の膨大な翻訳用例などを参照しながら行う翻訳の技術と、手話単語のCGとCGをなめらかにつなぐ技術の開発だ。日本語から手話CGへ自動翻訳する研究の最新情報を伝える。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DA2013-034	ろうを生きる難聴を生きる 震災を撮り続ける ～今村彩子さん～	NHK	15	2012/6/17
利用区分				
B-3	今村彩子さんは、映像作家として知られるろう者。東日本大震災が発生してまもなく宮城県に入った。以来、これまでに6回、被災地に入り、被災したろう者の暮らしを撮影し続けている。 その映像を編集し、最近完成させたのが「手話で語る3.11」というDVD。地震のときのろう学校の様子や、住みなれた地域を離れた仮設住宅での暮らしなどを、ろう者が手話で語る。このDVDの一部を紹介しながら、震災を撮り続ける今村さんに話を聞く。			

D 記録・報道

分類番号	作 品 名	制作など	分	放送年月日
DA2013-048	ハートネットTV みつえとゆういちー親子で紡ぐ“認知症”漫画ー	NHK	29	2012/11/29
利用区分				
A-3	日本の認知症高齢者は300万人を超え、今多くの人たちがさまざまな困難に直面しながら家族の介護に格闘している。認知症とどう向き合えばよいのだろうか。記憶を失いながら生きるとはどういうことなのだろうか。番組では、自身も認知症の介護の経験がある作家の田口ランディさんとともに、岡野さんの漫画が問いかけるメッセージをひもときながら、認知症介護のあり方を見つめ直す。(NHKHP参照)			

記録・報道/歴史 (DC)

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DC2007-001	壁を拓く、社会を開くⅡ —昭和50年代のろうあ運動— 「民法11条改正運動」〈手話ビデオ 字幕つき〉	聴障情報文化センター	51	2007年度
利用区分				
A-3	昭和50年代のろうあ運動は「4本柱」運動と呼ばれる権利獲得運動が中心だった。その中の1つ「差別的な民法11条改正運動」について紹介する。内容は、実際に差別にあった聴覚障害者の証言、弁護士の立場から見た改正前の民法11条の問題点、全日本ろうあ連盟の当時の活動などを野澤克哉先生の解説と共に紹介する。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DC2008-003	壁を拓く、社会を開くⅢ 平成のろうあ運動 〈手話ビデオ 字幕つき〉	聴障情報文化センター	53	2008年度
利用区分				
A-3	平成のろうあ運動の特徴は、それまでの聴覚障害者団体だけの運動と異なり、社会と共に運動する「社会連携型運動」であることが特徴としてあげられる。代表的な2つの運動、「民法969条改正運動」「欠格条項撤廃運動」について紹介する。旧民法969条や欠格条項が、どのような法律で、どこが問題となるのか。野澤氏や弁護士の田口氏に解説していただく。また、具体的にどのような活動を行ったのか、全日本ろうあ連盟の安藤理事長に当時を振り返りながら説明していただく。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DC2009-004	壁を拓く、社会を開くⅣ ろう教育の歴史 〈手話ビデオ 字幕つき〉	聴障情報文化センター	35	2009年度
利用区分				
A-3	欠格条項撤廃により、聴覚に障害があっても試験に合格すれば、医師や薬剤師の免許が交付されるようになった。しかし試験を受けることはできても、試験を受けるための教育方法については課題が残る。この作品では教育の中でも「ろう学校教育」に焦点を当て、ろう教育の歴史を伝える。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DC2013-002	防災の日スペシャル 首都大震災 わ・す・れ・な・い 3・11の警告	フジテレビ	96	2012/8/31
利用区分				
B-3	未曾有の被害をもたらした東日本大震災。あの日、東北では何が起きたのか。番組では震災時の貴重な映像をもとに、東日本大震災の被害を詳細に分析し、もし同じ規模の地震が首都圏を襲ったらどうなるのかを具体的に予測。どうやって大地震から身を守るか考える。			

D 記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DC2013-004	歴史秘話ヒストリア 新春激突！織田・徳川・武田 三大決戦 ～長篠の合戦 男たちは何を見た！？～	NHK 字幕制作：とちぎ視聴 覚障害者情報センター	43	2012/1/4
利用区分				
B-3	<p>「エピソード1 信玄と戦いたくない！信長の弱気な接待作戦」 ゴージャスな織物400枚に帯を300本に虎の皮にヒョウの皮、オーダメイドの服や帽子。戦国のカリスマ織田信長が武田信玄に贈ったプレゼント。信長にとって戦国最強軍団を率いる信玄は絶対敵にたくない相手だった。</p> <p>「エピソード2 最強軍団は占いで生まれた？武田信玄若き日の苦悩」 信玄は家臣のために祈ったり、ほうびを与えたり、温泉を用意して福利厚生を充実させたり…と家臣が気持ちよく働けるよう気を配り、その心をつかんでいった。</p> <p>「エピソード3 激突！長篠の戦い 戦場に散った忠義の男たち」 信長は最強武田を叩くため3000丁の鉄砲を準備、万全の手を打つ。信長の作戦はことごとく的中、勝頼の命も風前の灯火となったその時、信長に立ちはだかったのが、命がけで主君を守ろうとする武田の男たちだった。</p>			

記録・報道/人間関係 (DD)

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DD2007-009	知るを楽しむ 人生の歩き方 夜間中学校は僕らのふるさと 第1回 夜間中学校との出会い	NHK	25	2006/11/8
利用区分				
B-3	昼間の学校が終わった夕方5時に年齢も生まれた国も違うさまざまな人が通う学校・夜間中学校。生徒は皆、昼間の中学に通えなかった人たち。その夜間中学で42年間、国語の教師として夜間中学一筋に教え続けた見城慶和さんに夜間中学との出会いを伺う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DD2007-010	知るを楽しむ 人生の歩き方 夜間中学校は僕らのふるさと 第2回 生きる力を支える言葉	NHK	25	2006/11/15
利用区分				
B-3	42年間、夜間中学校の教壇に立ち続けた見城慶和さん。夜間中学に通う生徒は時代と共に変わる。高度経済成長期は、終戦直後に中学に通えなかった人たちが大人になって夜間中学に入ることが多かった。その生徒たちの生きる力を支える「言葉」について伺う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DD2007-011	知るを楽しむ 人生の歩き方 夜間中学校は僕らのふるさと 第3回 不登校の君へ	NHK	25	2006/11/22
利用区分				
B-3	1975年ごろから昼間の学校に通えない不登校の生徒が、夜間中学校に増え始めていった。心によろいを着せて、誰とも口をきかなかった生徒が、夜間中学で、みんなの前で初めて声を出して本を読むことができた。昼間の学校と夜間中学校はどこが違うのか。見城さんに夜間中学の教育力について伺う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DD2007-012	知るを楽しむ 人生の歩き方 夜間中学校は僕らのふるさと 第4回 「鈍行列車」で行こう	NHK	25	2006/11/29
利用区分				
B-3	42年間にわたる夜間中学校の教師生活で、見城慶和さんは2000人を超える卒業生を送り出した。そして、2003年3月、見城さんは定年を迎え教師生活を終えた。しかし夜間中学校を卒業しても、更に「学び」を求める人は多い。見城さんの「学び」に対する思いを伺う。			

D 記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DD2011-009	プロフェッショナル 仕事の流儀 涙も笑いも力になる ～院内学級教師・副島賢和～	NHK	48	2011/1/24
利用区分				
A-3	院内学級とは、病気やけがなどが理由で学校に通えない子どもたちのための病院内施設。副島は、ここで勉強を教えると同時に、一つのことを大切にしている。子どもたちの不安や心配を解きほぐすことだ。「子どもを下から持ちあげる」「そうっと、そばにいる」…。番組は、日々子どもに寄り添う副島（そえじま）先生を追いながら、その極意を伝える。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DD2012-001	私たちの時代	フジテレビ	116	2010/12/30
利用区分				
B-3	石川県門前町は能登半島の日本海に面した、過疎化と高齢化が進む小さな町。その町にある唯一の高校、県立門前高等学校。生徒数は年々減少しているが、女子ソフトボール部は飛び抜けて元気だ。 2007年3月、能登半島地震が町を襲った。その2週間後には、ソフト部は練習を再開。悲嘆にくれる崩れた町に元気な声が響いた。 3年に及び密着取材がとらえた、再生と復興の青春ドキュメンタリー。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DD2012-003	学びEye! 三陸“復幸” ～被災地の〈食〉に学ぶ6カ月～	IBC岩手放送	26	2011/9/11
利用区分				
B-3	世界三大漁場の1つに数えられる三陸沖。東日本大震災の津波は三陸から多くのものを奪っていった。船は流され、カキやホタテの養殖施設は壊滅した。しかし三陸には食への絆・食への思いが残っていた。三陸の復興に挑む人々の姿を追う。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DD2012-004	発見! 人間力 其の123 いただきます ～山川牧場といのちの教育～	山形放送	26	2011/1/29
利用区分				
B-3	山形県上山市で酪農を営む山川喜一さん。彼は地元の小中学校で、「食と命」をテーマに講演を行い、教育ファームの活動も熱心に行っている。生徒たちは実際に山川牧場を訪れ、ウサギや鶏をと畜し、命が食べ物に変わる瞬間を体験する。			

D 記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DD2012-005	情熱大陸 助産師 坂本フジエ	毎日放送	25	2011/6/12
利用区分				
B-3	坂本フジエさん（87歳）は、日本最高齢の助産師である。手がけた出産は3915組。67年のキャリアと人柄にひかれて坂本の門をたたく女性は多い。歳月に磨かれた坂本の言葉に励まされ、まるでわが家のようなぬくもりを感じるという。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DD2012-006	情熱大陸 救命医 小林誠人	毎日放送	25	2011/7/17
利用区分				
B-3	兵庫県立豊岡病院に勤務する救命医、小林誠人。人は彼を日本一忙しいフライトドクターと呼ぶ。彼の貴重な足となるのが、ドクターヘリだ。「1秒でも速く現場へ」「どんな患者も断らない」この信念を胸に、彼は救急救命の最前線を走り続ける。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DD2012-007	情熱大陸 地域紙 石巻日日新聞	毎日放送	25	2011/9/11
利用区分				
B-3	宮城県石巻市にある地域新聞、石巻日日新聞社。東日本大震災により、社屋は倒壊は免れたものの、津波に襲われ輪転機は止まってしまった。そんな中、記者たちは地域住民に何とか情報を伝えたいと、手書きの壁新聞を毎日作り続けた。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DD2012-009	新日曜美術館シリーズ 創作の現場ドキュメント (1) 写真家・石内都「ひろしま」との対話	NHK	45	2008/7/27
利用区分				
B-3	鬼写真家・石内都。1979年、女性初の木村伊兵衛賞受賞、2005年にはヴェネツィア・ビエンナーレ日本代表となるなど、日本の写真界の一線を走り続けてきた女性写真家だ。昨年、石内は新たな撮影に挑んだ。テーマは「広島」。広島平和記念資料館に保管されてきた、原爆で亡くなった人の遺品など、「被爆資料」にカメラを向けたのだ。焼けこげたワンピース、引きちぎられた上着…。どの品物にも空前の惨劇の傷跡が残る。石内は、一点一点に語りかけるようにシャッターを切りながら、原爆で断ち切られた人々の「その瞬間」以前に思いをはせ、そこに刻まれた生命の痕跡を鮮やかに蘇らせていく。確かに人生を謳歌し、生きていた遺品のあるじたち。石内の写真の中で、被爆資料たちは、自らの刻印された人生を、愛を、静かに語り始める。 これは、一人の写真家の一年半に渡る「広島」との対話の記録である。（NHK番組HPより抜粋）			

D 記録・報道

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DD2013-001	プロフェッショナル 仕事の流儀 闘う介護、覚悟の現場 介護福祉士 和田行男	NHK	48	2012/6/25
利用区分				
A-3	日本全国で200万人を超えるといわれる認知症。その介護の世界に、新しい風を吹き込み続ける和田行男さん。介護の仕方によっては“普通に生きる姿”を続けられると主張。認知症のお年寄りたちが家庭的な環境のもと、少人数で共同生活を送る「グループホーム」で、先駆的な取り組みを続けてきた。和田行男さんの施設では、お年寄りたちは、自分でできることは自分でするのがルール。けがや事故のリスクも常にある。それでも和田行男さんは、お年寄り1人1人の認知症の度合いや身体能力などを見極めながら、できる限り“普通の暮らし”を維持できるように奮闘し続ける。			

分類番号	作品名	制作など	分	放送年月日
DD2013-019	プロフェッショナル 仕事の流儀 希望のリハビリとともに闘い抜く リハビリ医 酒向正晴	NHK	48	2013/5/13
利用区分				
A-3	リハビリの現実とは、決してなまやさしいものではない。脳卒中による後遺症を抱えた患者の中には、せん妄やうつ病など、精神的なダメージを負ってしまうケースが少なからずあり、それがリハビリを難しくする。しかし酒向（さこう）は、どんなに困難なケースでも、最後の最後まで粘り抜く。リハビリには、患者の人生を取り戻すという大切な役割があると、信じているからだ。（NHK HPより）			